

「衣冠束帯」や「十二単」とも呼ばれる公家・女房装束は、宮中における正装です。平安時代にルーツを持ち、戦乱の時代における中断と江戸時代の再興を経て、幕末に伝えられました。明治時代に洋装が採用される中で、こうした伝統的な装束は、明治天皇の旧儀保存の思召しにより継承がはかられ、即位の御大礼に代表される宮中行事や宮中祭祀・御結婚式、および神宮式年遷宮、石清水祭・賀茂祭・春日祭の三勅祭のなかで脈々と伝えられてきました。

今回は、今秋行われる御大礼で用いられる装束を中心に、雅やかな装束の世界をご紹介します。

担当講師：田中 潤氏
(学習院大学 非常勤講師)

『近代の御大礼と装束』 御大礼講座②



『大嘗祭図』原在寛筆(個人蔵)



『御即位図』原在寛筆(個人蔵)

令和元年9月15日(日)
12時30分から開始

会場：春日大社 感謝共生の館
会費：1,000円

(当日受付にてお納めください)

<当日の予定>

- 12:30 受付開始
- 13:00 講話
- 14:30 講話終了 のち 移動
- 15:10 本社参拝 のち 自由解散

- * 当日の状況により、内容を変更することがございます。
- * ご参加の方は公共交通機関(バス・電車)をご利用ください。
- * お車でお越しの場合は、別途駐車料金(¥1,000)必要です。

【お申し込みは FAX または おハガキで
お問い合わせは お電話で】

〒630-8212 奈良市春日野町160 春日大社 教化部

TEL(0742)22-7788 FAX(0742)27-2114

春日大社の最新情報は<http://www.kasugataisha.or.jp>を check !

